

# 市民意識調査

## 調査概要

「久留米市都市計画マスタープラン」を検討するにあたり、18歳以上の久留米市民から6,000人を無作為に選び、アンケート調査を実施した。アンケートの有効回答票数は2,544票(有効回答率42%)となっている。以下に調査概要及び調査票の配布・回収状況を示す。

### 1) 調査概要

調査の目的	都市計画マスタープランの検討に際しての市民意向の把握
調査対象	市内に居住する18歳以上の市民の無作為に抽出した6,000人
調査方法	郵送配布、郵送回収による自記式調査
実施期間	平成22年9月29日～平成22年10月12日
主な調査内容	<p>(1) お住まいの地域の現状について 地域の現状についての満足度(問1) / 日常生活行動の現状(問2)</p> <p>(2) お住まいの地域の将来について 地域の将来のイメージ(問3) / 地域の交通対策(問4) / 地域の公園・緑地の整備(問5) / 地域のその他の公共施設の整備(問6)</p> <p>(3) 久留米市全体のまちづくりについて 将来のまちのイメージ(問7) / 新しいまちづくりへの対応(問8) / 市外からも多くの人をひきつける魅力あるまちづくり(問9) 人口減少・少子高齢化への対応(問10) / 安全・安心なまちづくり(問11) / 環境に配慮したまちづくり(問12) / まちづくりへの参加(問13)</p> <p>(4) あなたご自身のことについて 性別(問14) / 年齢(問15) / お住まいの地域(問16) / 居住年数(問17) / 土地・建物の所有状況(問18) / 定住意向(問19) / ご意見・ご要望(問20)</p>

### 2) 調査票の配布・回収状況

地域	配布数	回答数	回答率
旧久留米市	3,000	1,274	42%
旧三潴町	750	328	44%
旧城島町	750	324	43%
旧田主丸町	750	311	41%
旧北野町	750	307	41%
不明	-	32	-
計(久留米市全体)	6,000	2,576	43%
有効回答数 (不明を除く・久留米市全体)	6,000	2,544	42%

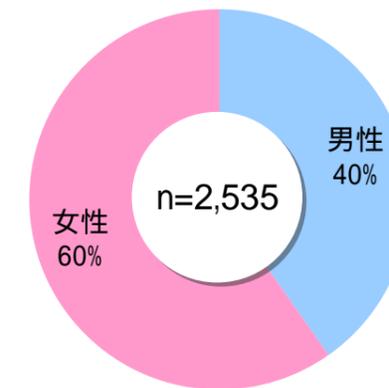
## 調査結果

以下に、調査結果を示す。

### 回答者の属性

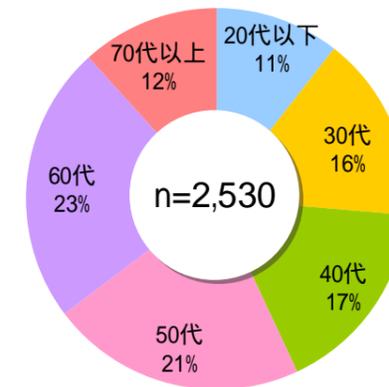
#### 性別

・男性が4割、女性が6割となっており、女性の回答率が高い。



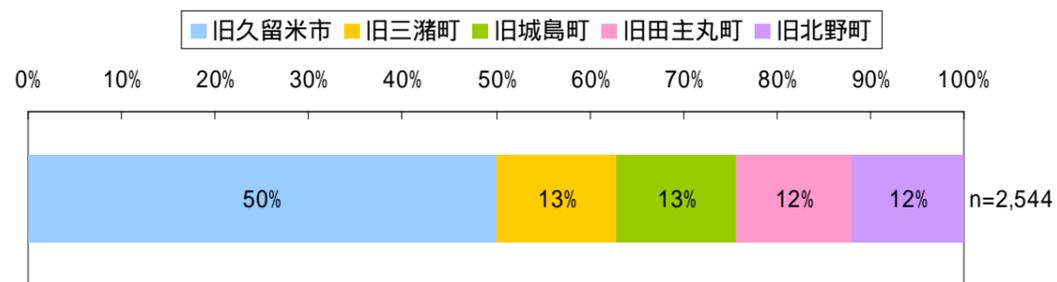
#### 年齢

・60代からの回答が23%と最も多く、次いで50代(21%)、40代(17%)となっている。



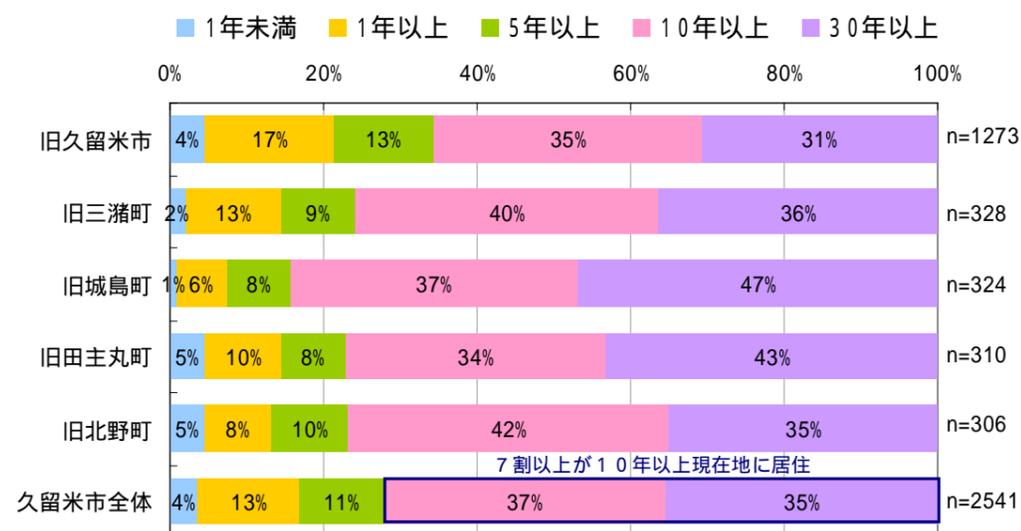
### お住まいの地域

・回答者のうち旧久留米市が5割を占めており、その他旧4町でそれぞれ12~13%を占めている。



### 居住年数

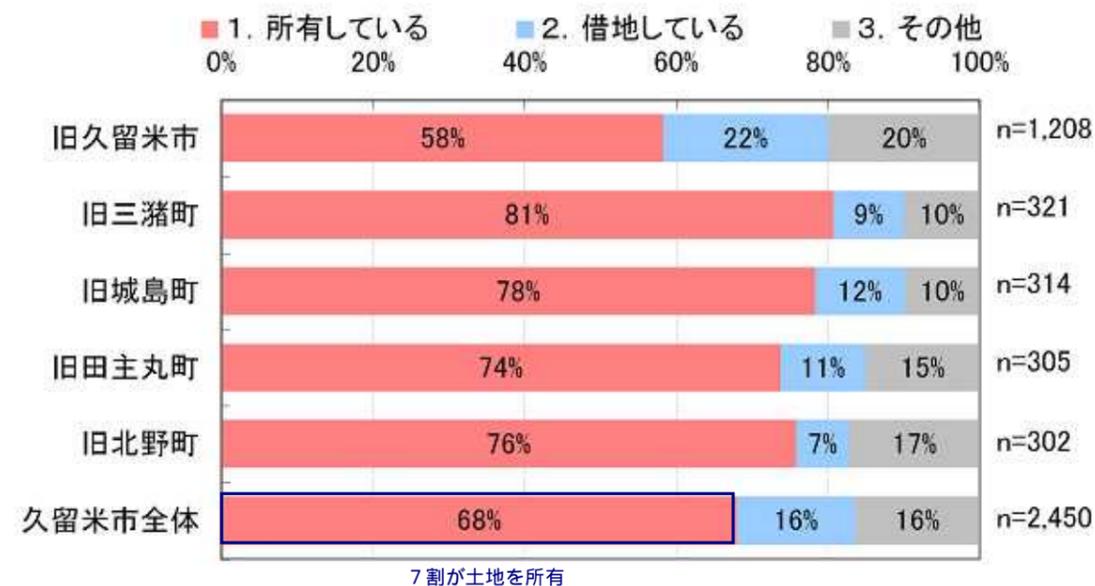
・本調査の対象者の7割以上が10年以上現在地に居住している。



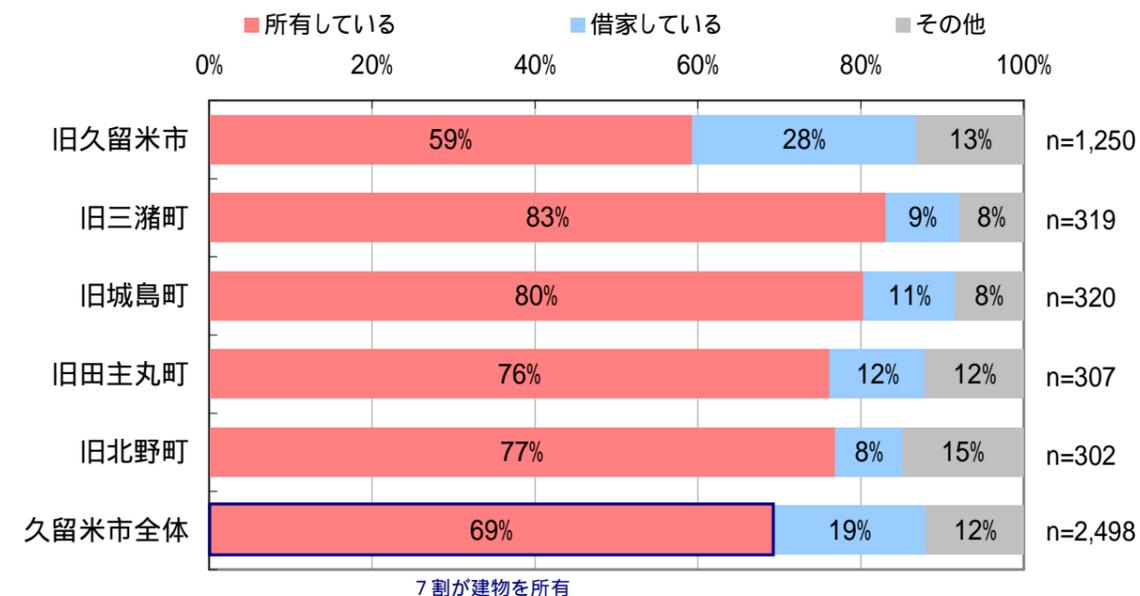
### 土地・建物の所有状況

・久留米市民の7割は土地もしくは建物を所有している。  
 ・旧久留米市民の土地もしくは建物の所有率は6割程度であり、他の旧市町に比べて低い。

#### 土地の所有状況



#### 建物の所有状況



定住意向

・久留米市民の8割が今後も久留米市に住み続けたいと回答している。



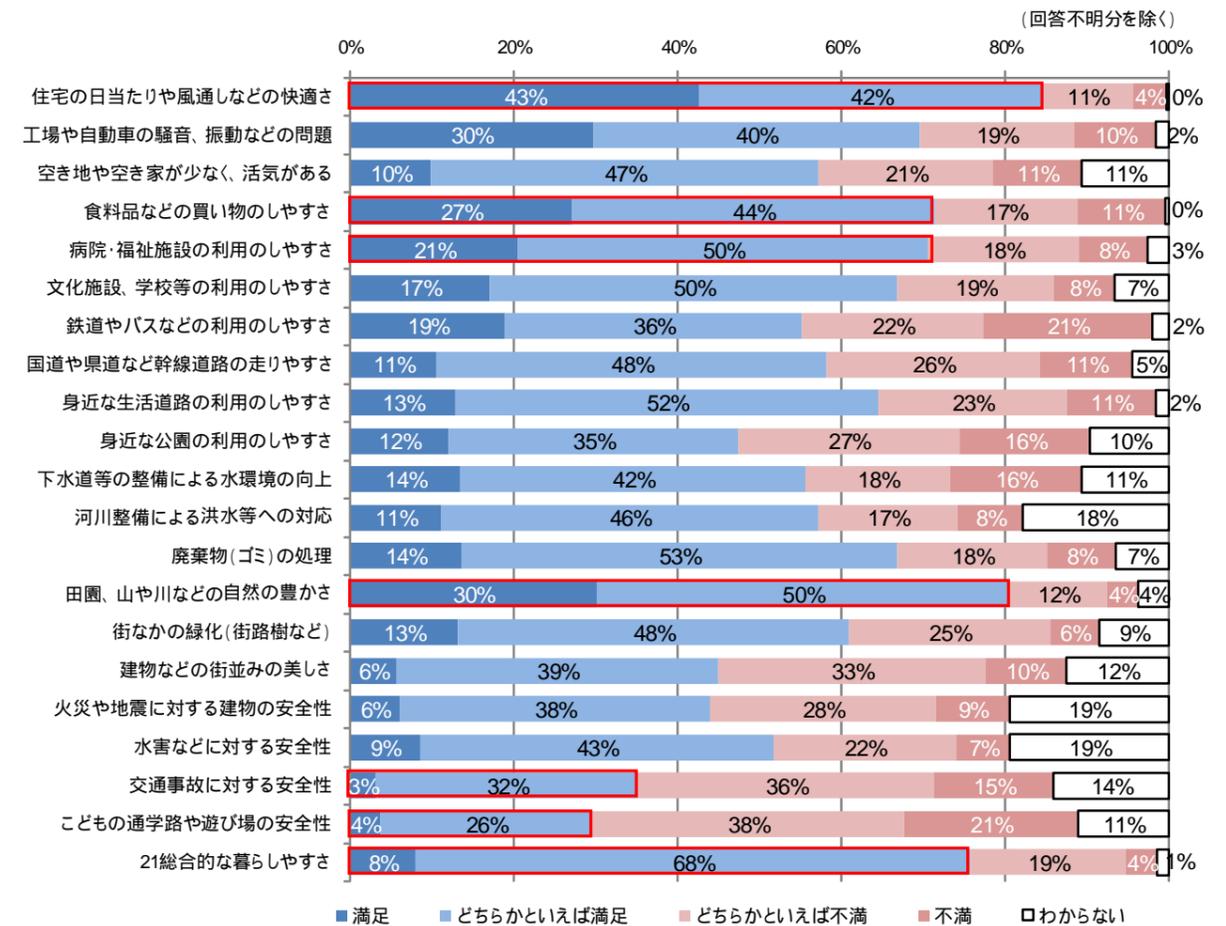
お住まいの地域の現状について

お住まいの地域の現状についての満足度

問1 お住まいの地域（おおむね小学校区の範囲）の生活環境に対して満足していますか？下の①～⑳それぞれについて、あてはまるもの1つを選び番号をつけてください。

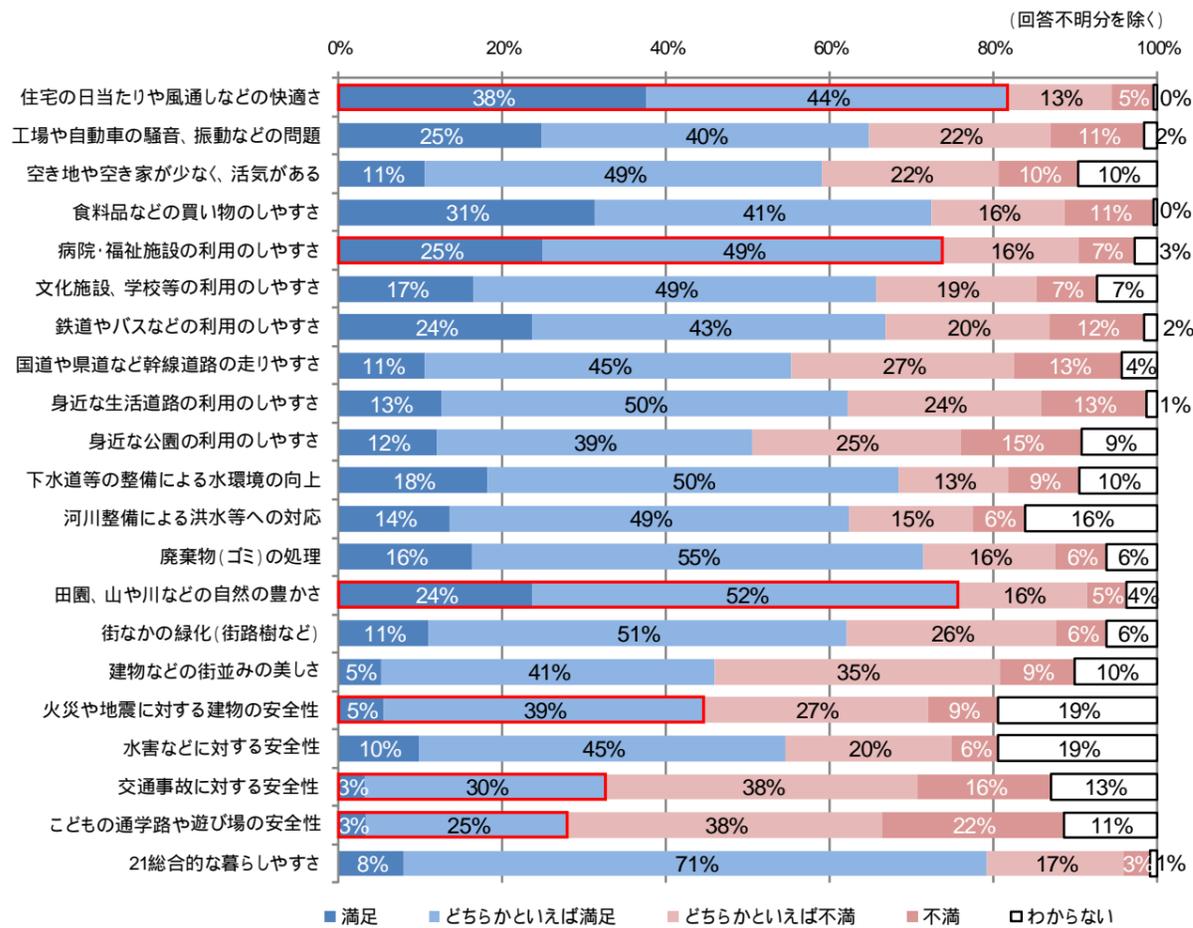
【市全体】

- ・お住まいの地域の生活環境については、満足、どちらかと言えば満足をあわせると「住宅の日当たりや風通しなどの快適さ」が約85%で最も高く、次いで「田園、山や川などの自然の豊かさ」80%、「食料品などの買い物のしやすさ」71%、「病院、福祉施設の利用のしやすさ」71%への満足が高い。
- ・一方、「こどもの通学路や遊び場の安全性」は、満足、どちらかと言えば満足をあわせ30%と最も低く、次いで「交通事故に対する安全性」35%、「火災や地震に対する建物の安全性」、「建物などの街並みの美しさ」、「身近な公園の利用のしやすさ」への満足度が低い。
- ・豊かな自然の中で買い物などの利便性に対して満足度が高い一方で、交通事故や災害に対する不安、街並みの美しさなど、「安全・安心」や「生活の質」に対して評価が低いことが伺われる。
- ・総合的な暮らしやすさでは、約8割の方が満足と答えており、全体的な生活環境に対しては満足度の高い結果となっている。



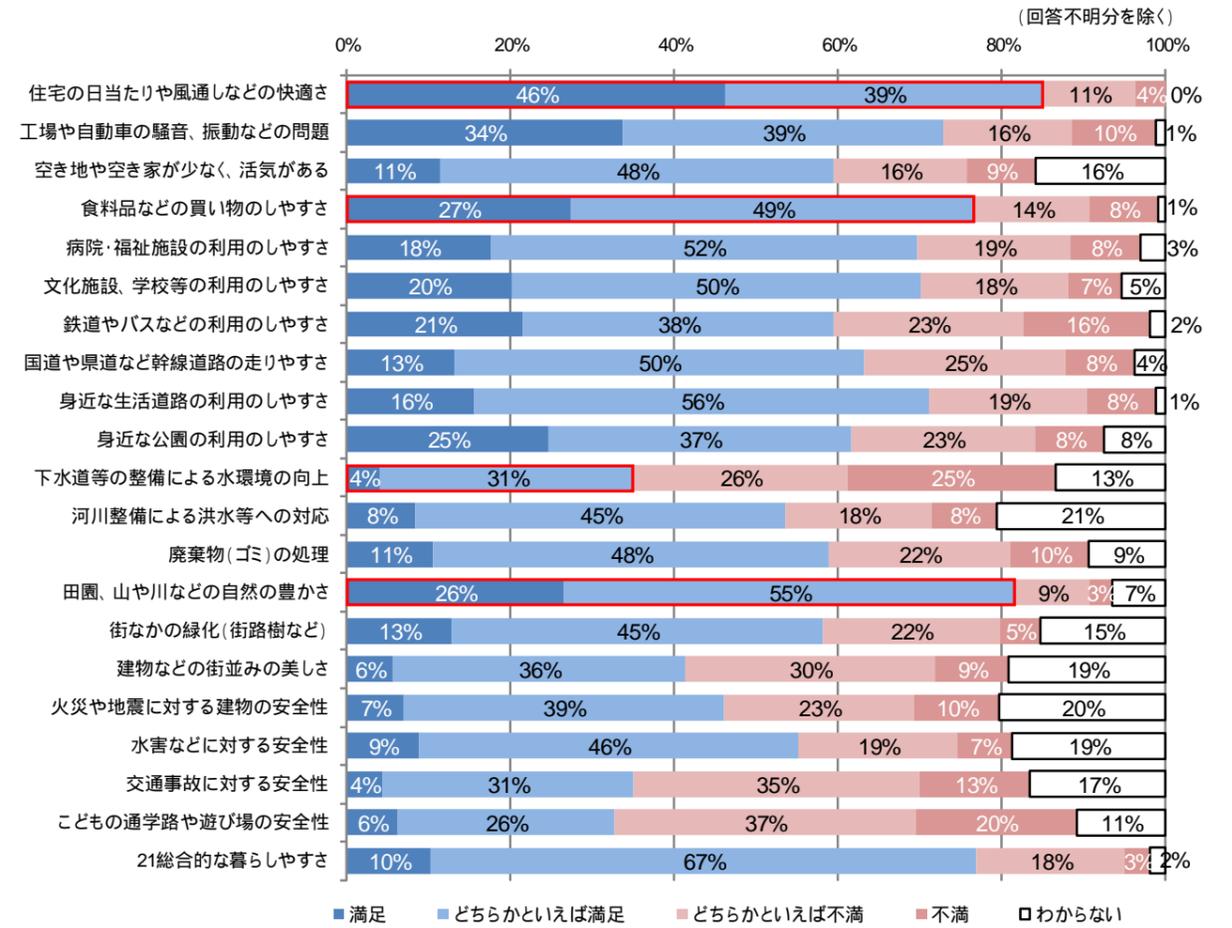
【旧久留米市】

- ・満足・どちらかと言えば満足をあわせると、「住宅の日当たりや風通しなどの快適さ」82%、「田園、山や川などの自然の豊かさ」76%、「病院・福祉施設の利用のしやすさ」74%、「食料品などの買い物のしやすさ」72%などへの評価が高く、市全体と同様に、生活環境や生活利便性、自然環境に対する満足度が高い。
- ・一方で、「こどもの通学路や遊び場の安全性」28%、「交通事故に対する安全性」33%、「火災や地震に対する建物の安全性」44%など、生活の安全性に対する評価は低く、人々が多く居住し、多くの車両が集中する地区特性を反映した結果となっている。



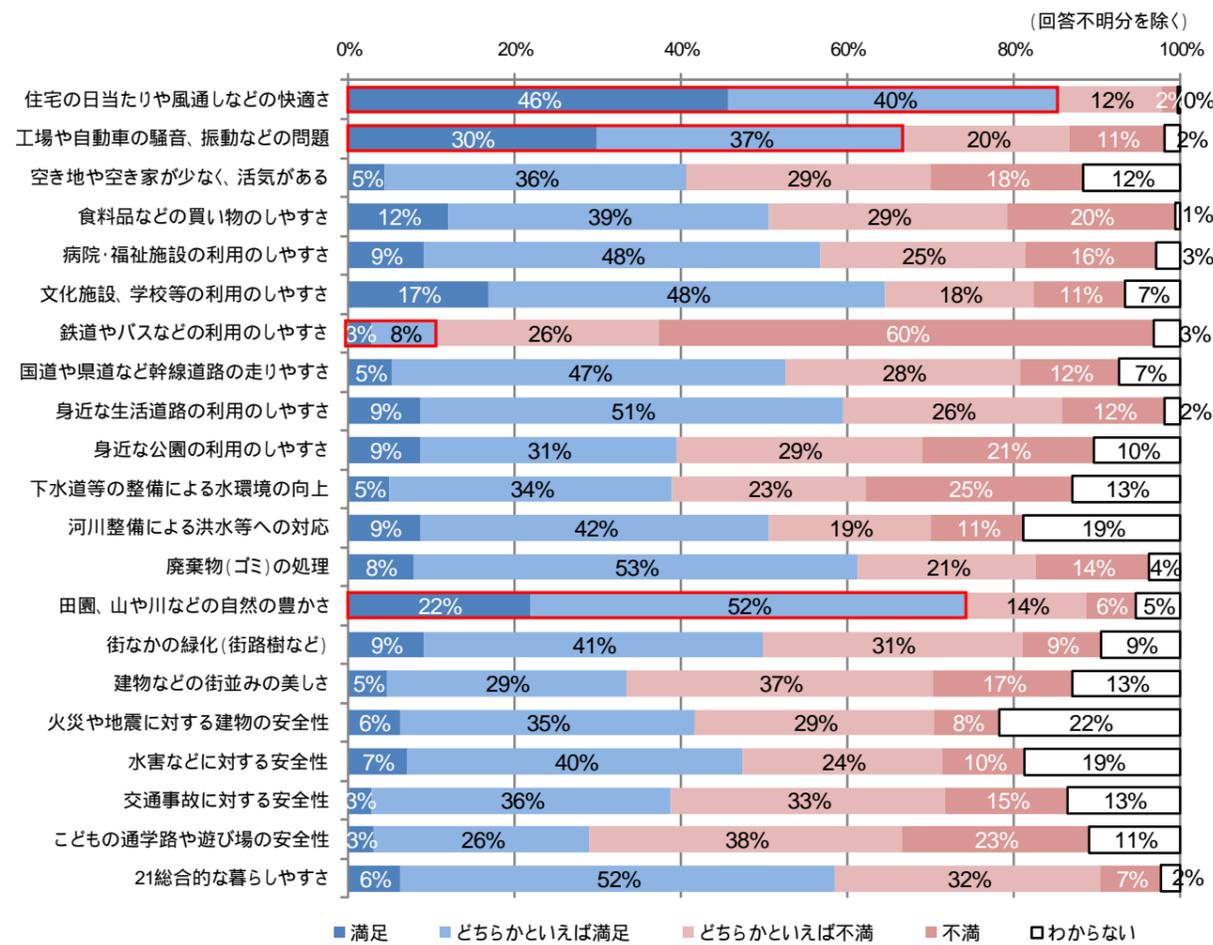
【旧三潅町】

- ・満足、どちらかと言えば満足をあわせると、「住宅の日当たりや風通しなどの快適さ」85%、「田園、山や川などの自然の豊かさ」81%、「食料品などの買い物のしやすさ」76%などへの評価が高く、市全体と同様に、生活環境や生活利便性、自然環境に対する満足度が高い。
- ・一方、「下水道等の整備による水環境の向上」への満足度は35%にすぎず、生活排水施設に対する評価が低い。



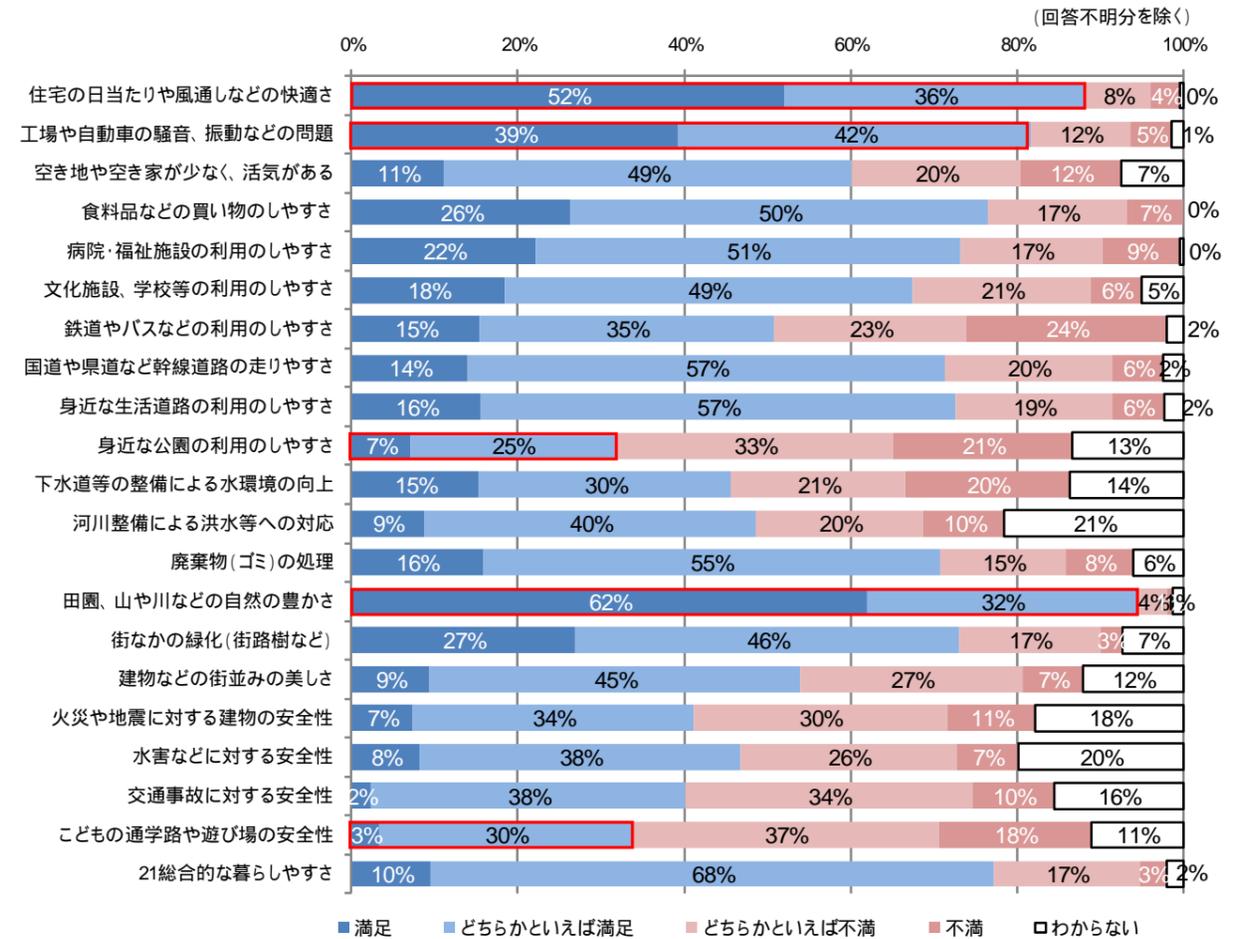
【旧城島町】

- ・満足、どちらかと言えば満足をあわせると、「住宅の日当たりや風通しなどの快適さ」86%、「田園、山や川などの自然の豊かさ」74%、「工場や自動車の騒音、振動などの問題」67%などへの評価が高く、市全体と同様に、生活環境や生活利便性、自然環境に対する満足度が高い。
- ・一方、「鉄道やバスなどの利用のしやすさ」への満足度は11%にすぎず、公共交通の利便性に対する評価が極めて低く、公共交通の不便地区の解消が求められている。



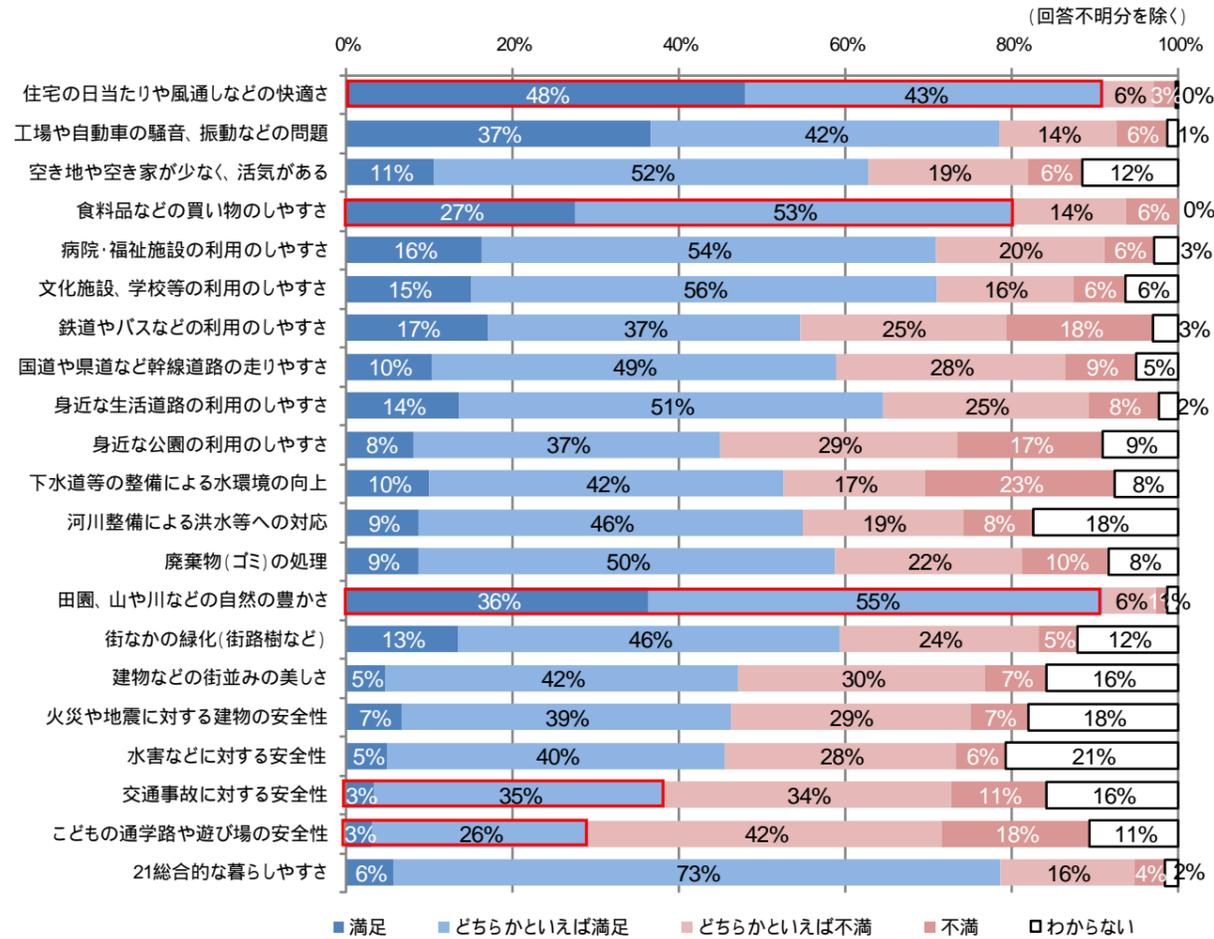
【旧田主丸町】

- ・満足、どちらかと言えば満足をあわせると、「田園、山や川などの自然の豊かさ」94%、「住宅の日当たりや風通しなどの快適さ」88%、「工場や自動車の騒音、振動などの問題」81%などへの評価が高く、市全体と同様に、生活環境や生活利便性、自然環境に対する満足度が高い。
- ・一方、「身近な公園の利用のしやすさ」32%、「こどもの通学路や遊び場の安全性」33%などの満足度が低く、身近な公園や遊び場、通学路など生活環境施設に対する満足度が低い。



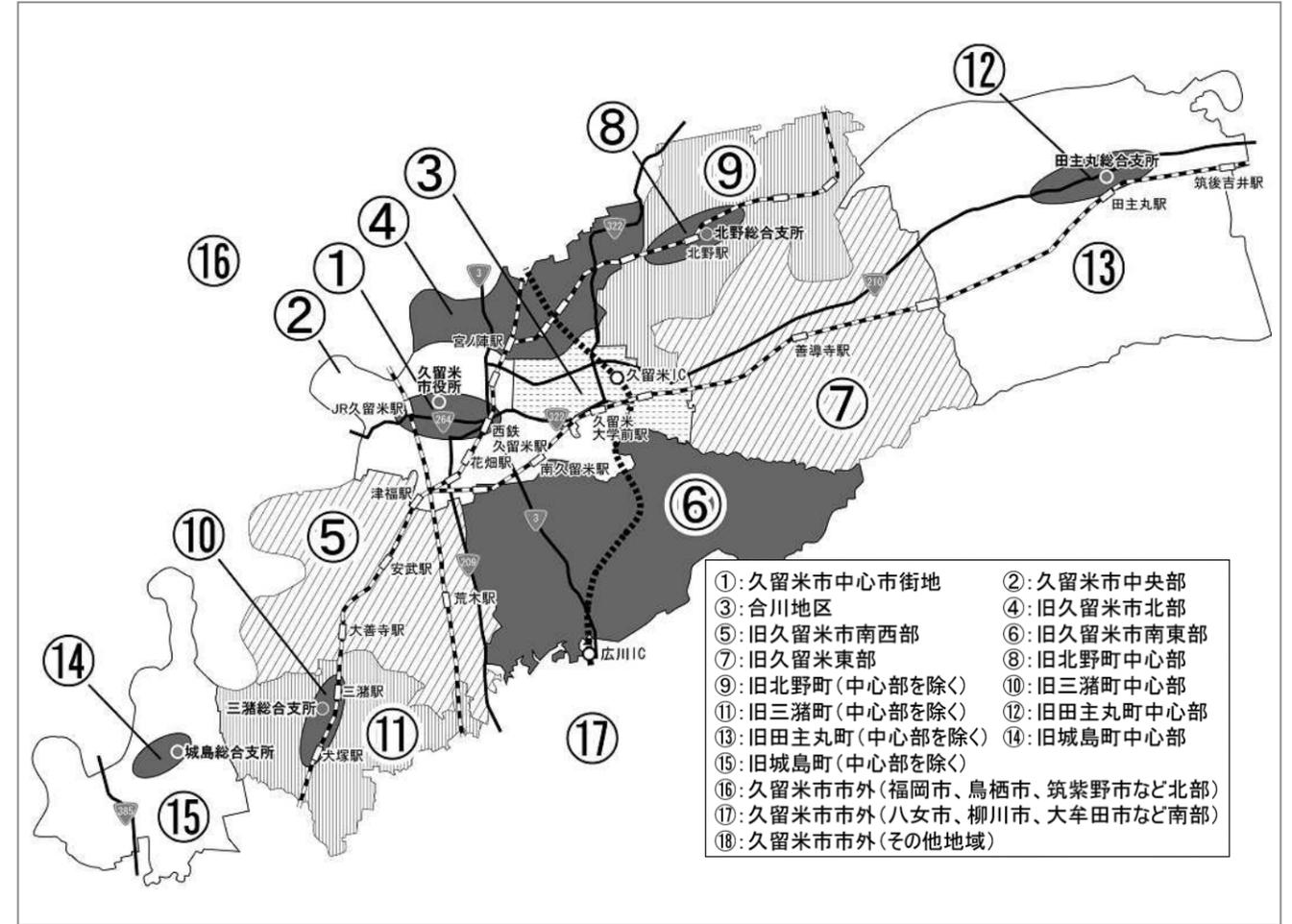
【旧北野町】

- ・満足、どちらかと言えば満足をあわせると、「田園、山や川などの自然の豊かさ」91%、「住宅の日当たりや風通しなどの快適さ」91%、「食料品などの買い物のしやすさ」80%などへの評価が高く、市全体と同様に、生活環境や生活利便性、自然環境に対する満足度が高い。
- ・一方で、「こどもの通学路や遊び場の安全性」29%、「交通事故に対する安全性」38%など、道路や遊び場など生活環境の安全性に対する評価が低い。



日常の生活行動の現状

問2 現在、日常生活の中で**関わりの多い地域(よく行く地域)**は、どこですか？下表の1～8のそれぞれの日常生活の行動について、下の図の～のなかから**最もよく行く地域の番号1つを選び、表のなかにご記入**ください。なお、行くことがない場合は、空白として下さい。



地域の区分

- ・目的別にみた各地域の生活行動の場を以下に整理する。

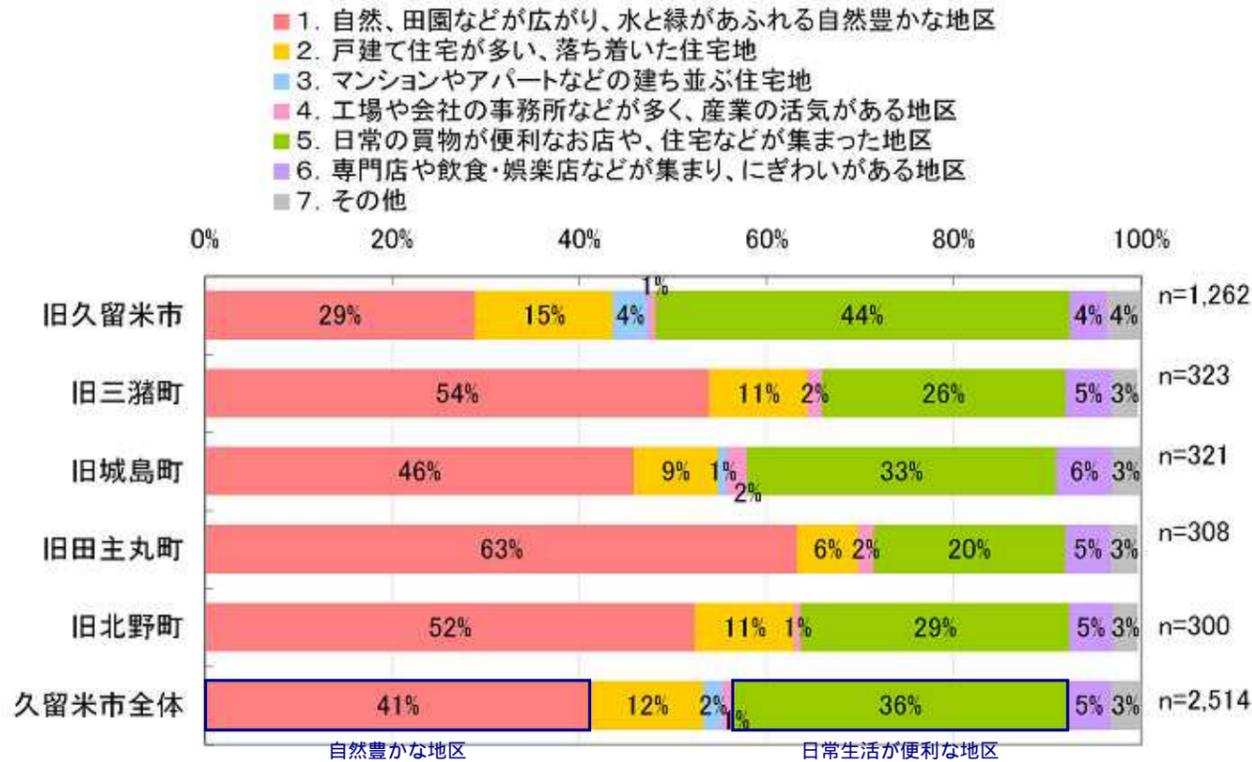


## お住まいの地域の将来について

### お住まいの地域の将来のイメージ

問3 お住まいの地域（おおむね小学校区の範囲）は、どのようなまちになるとよいと思いますか？あなたのイメージに近いもの1つを選び番号にをつけてください。

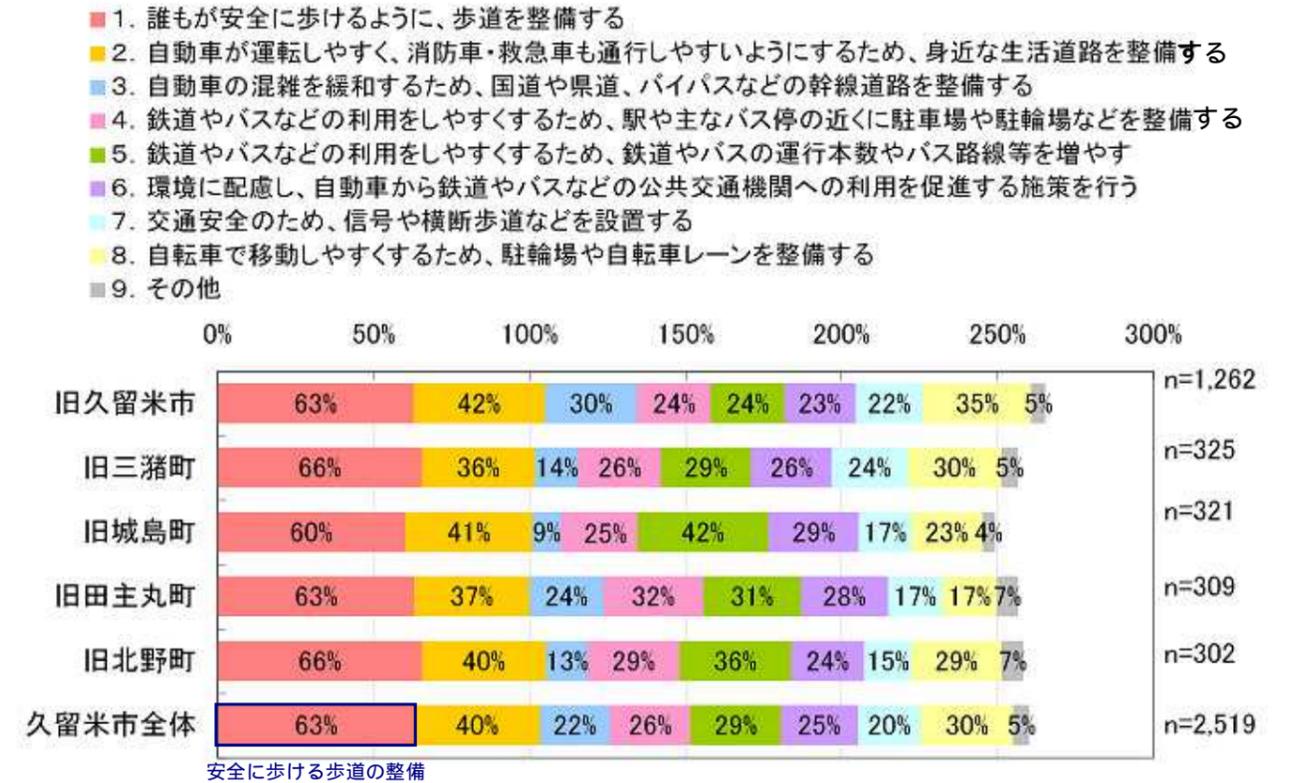
- ・全体では「自然、田園などが広がり、水と緑があふれる自然豊かな地区」が41%で最も多く、ついで「日常の買物が便利なお店や、住宅などが集まった地区」36%となっている。
- ・旧市町別にみると、旧久留米市では「日常の買物が便利なお店や、住宅などが集まった地区」が44%で最も多い。その他の旧町では「自然、田園などが広がり、水と緑があふれる自然豊かな地区」が最も多く、特に旧田主丸町で顕著であり、生活の利便性よりも自然環境の豊かさを重視する傾向にある。
- ・全般的には、「自然や田園など自然豊かな環境が身近にある中で、日常生活が便利な地域であること」が望まれており、日常生活機能を提供する拠点地区の形成と広大な自然環境の保全といった都市と自然との棲み分けが求められることが伺われる。



### お住まいの地域の交通対策

問4 今後、道路や鉄道、バスなどのあり方について、お住まいの地域（おおむね小学校区の範囲）では、どのような整備や取組みが重要だと思いますか？あなたのお考えに近いものを3つまで選び番号にをつけてください。

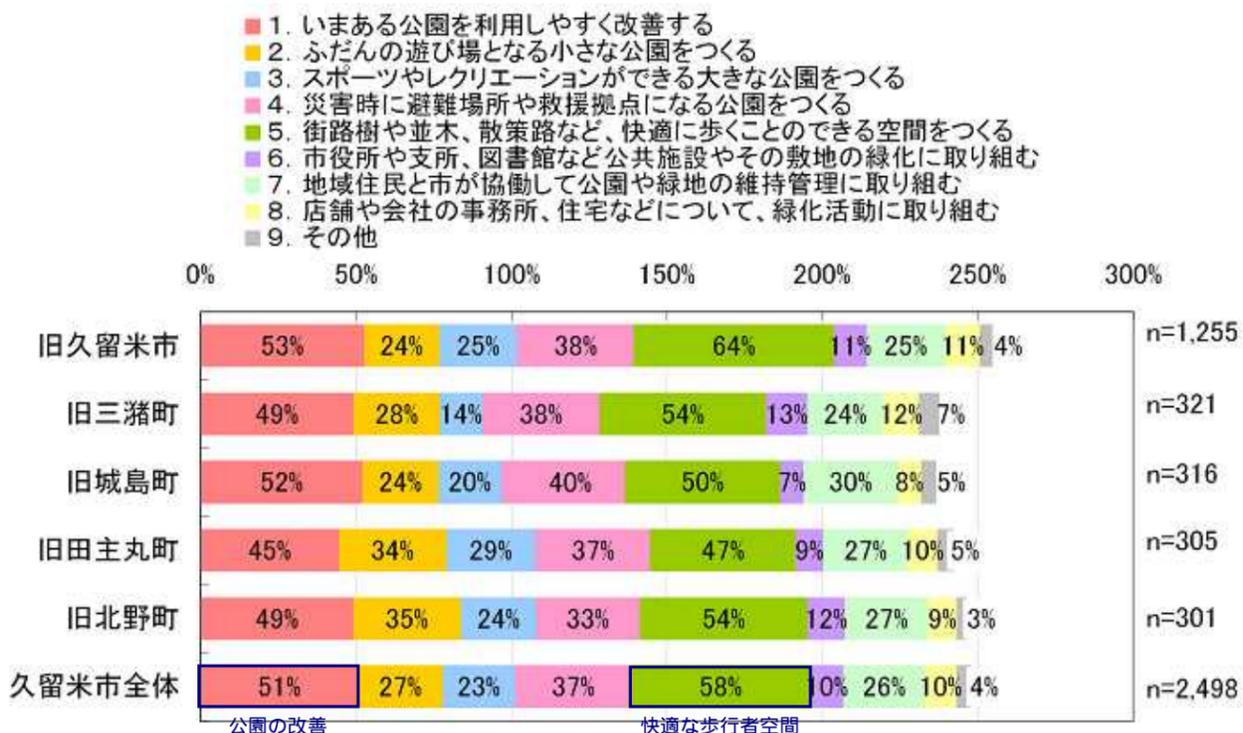
- ・市全体では、「誰もが安全に歩けるように、歩道を整備する」が63%で最も多く、ついで「自動車が運転しやすく、消防車・救急車も通行しやすいようにするため、身近な生活道路を整備する」が40%で多い。
- ・旧市町別にみても全体と同様の傾向を示しているが、旧城島町では「鉄道やバスなどを利用しやすくするため、鉄道やバスの運行本数やバス路線等の増やす」42%で市全体よりも高い。
- ・こうしたことから、歩道や生活道路の整備など身近な居住地における道路環境の改善とともに、公共交通不便地区の解消が望まれる。



お住まいの地域の公園・緑地の整備

問5 今後、**公園や緑地の整備**を進めるうえで、お住まいの地域（おおむね小学校区の範囲）では、どのような整備や取組みが重要だと思いますか？あなたのお考えに近いものを**3つまで選び番号に**をつけてください。

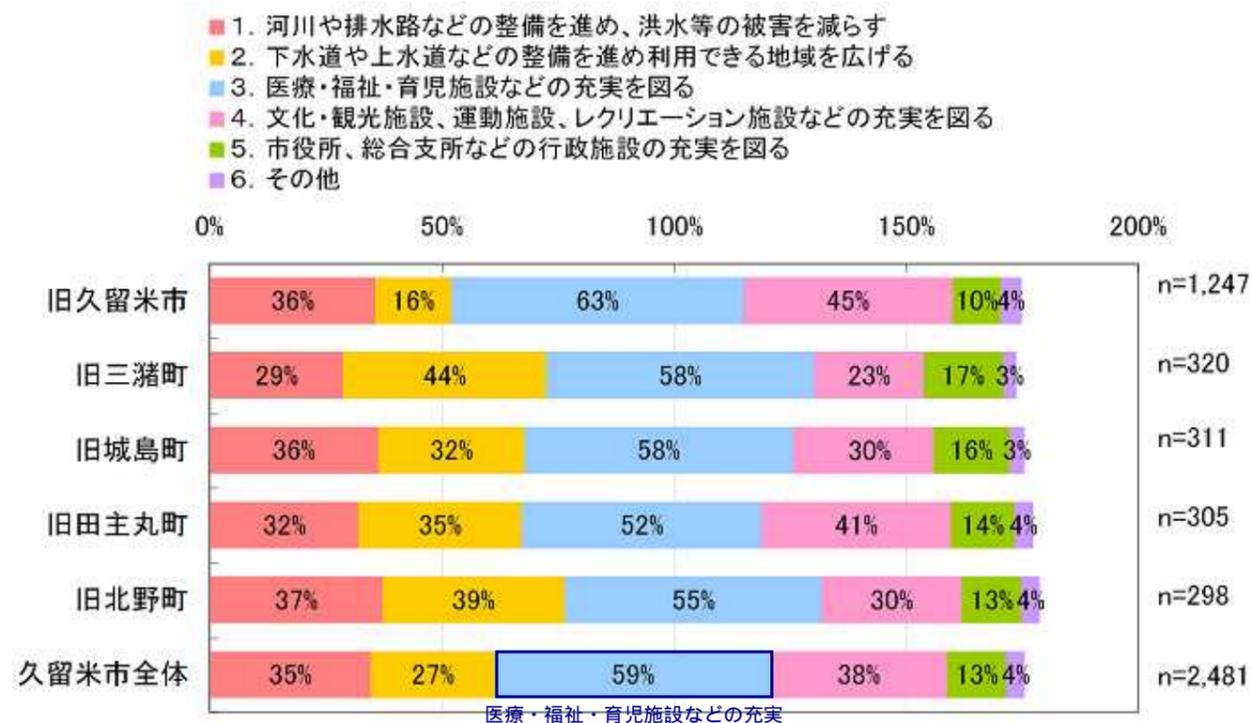
- ・市全体では、「街路樹や並木、散策路など、快適に歩くことのできる空間をつくる」が58%で最も多く、ついで「いまある公園を利用しやすく改善する」が多い。
- ・旧市町別にみても、市全体と概ね同様の傾向にあるが、旧久留米市地区では「街路樹や並木、散策路など、快適に歩くことのできる空間をつくる」が64%と高く、街路や歩行者空間の質の向上を重要視している。



お住まいの地域のその他の公共施設の整備

問6 今後、その他の**公共施設の整備**を進めるうえで、お住まいの地域（おおむね小学校区の範囲）では、どのような整備や取組みが重要だと思いますか？あなたのお考えに近いものを**2つまで選び番号に**をつけてください。

- ・市全体では「医療・福祉・育児施設の充実を図る」が59%で最も多く、ついで「文化・観光施設、運動施設、レクリエーション施設などの充実を図る」が多い。
- ・旧市町別にみると、旧久留米市や旧田主丸町では「文化・観光施設、運動施設、レクリエーション施設などの充実を図る」が他の市町に比べて多い。旧三潴町や旧北野町では「下水道や上水道などの整備を進め利用できる地域を広げる」が他の旧市町に比べて多い。
- ・よって、河川、上下水道などの都市基盤施設よりも、医療・福祉・育児施設、文化・レクリエーションなどの充実を優先する傾向が伺われる。

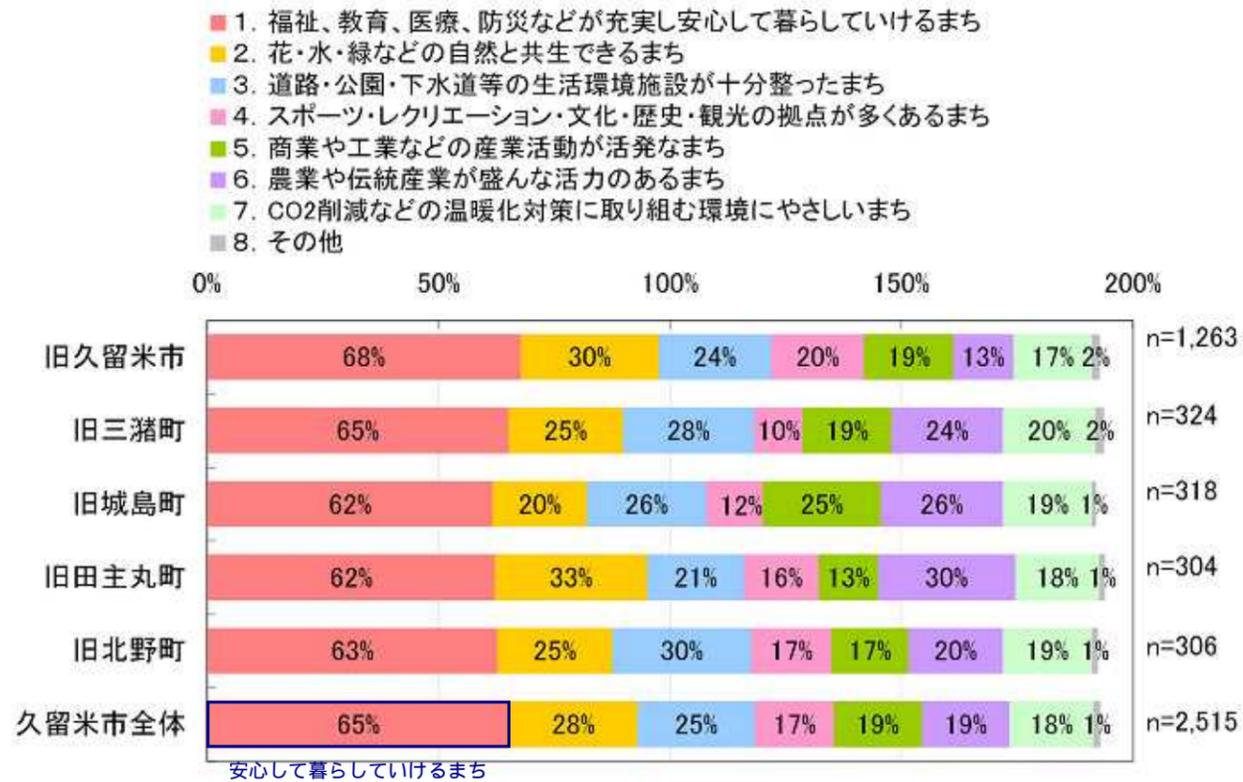


## 久留米市全体のまちづくりについて

### 久留米市の将来のまちのイメージ

問7 将来の久留米市は、**どのようなまち**になるとよいと思いますか？あなたのイメージに近いものを**2つまで** **選び番号**にをつけてください。

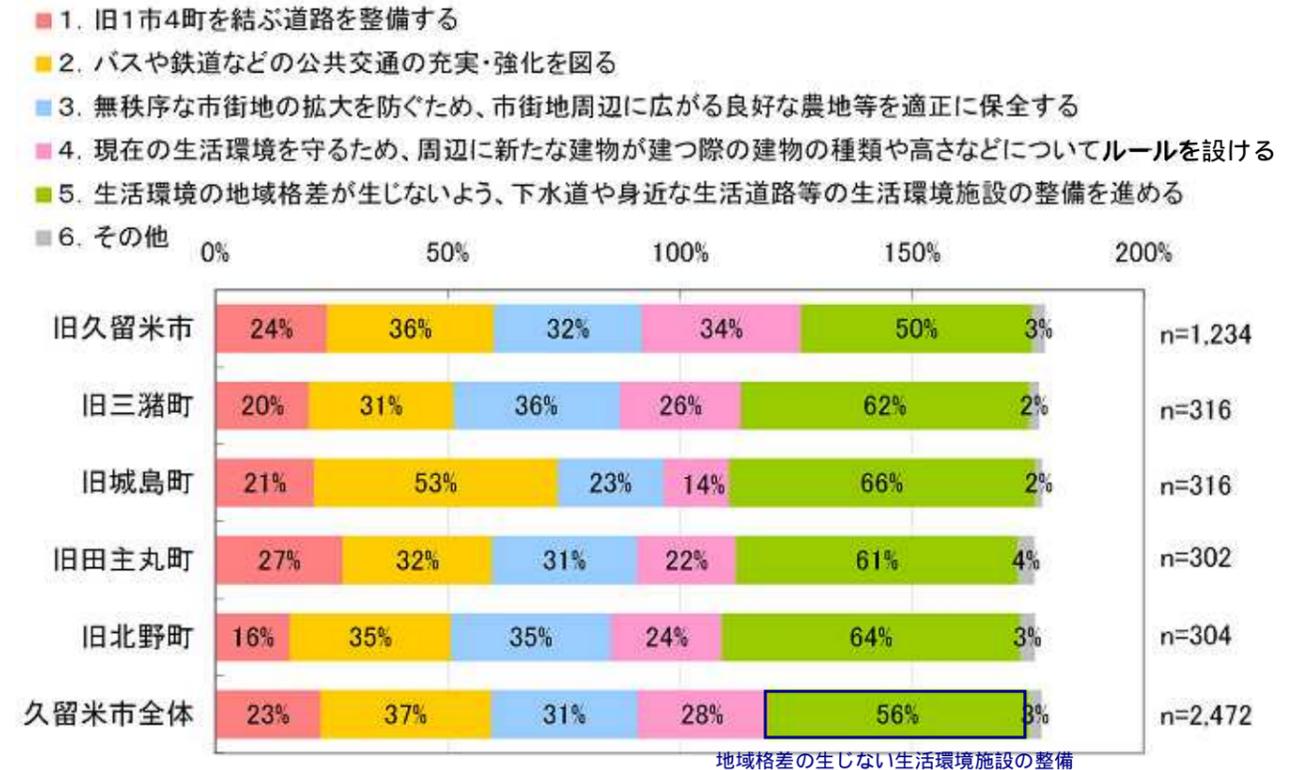
- ・市全体では、「福祉、教育、医療、防災などが充実し安心して暮らしていけるまち」が65%で最も多く、他の将来像を圧倒した結果となっている。旧市町別にみても、「福祉、教育、医療、防災などが充実し安心して暮らしていけるまち」が最も多い。
- ・一方で、旧三潴町や旧北野町では「道路・公園・下水道等の生活環境施設が十分整ったまち」が、旧城島町では「商業や工業などの産業活動が活発なまち」や「農業や伝統産業が盛んな活力のあるまち」が、旧田主丸町では「花・水・緑などの自然と共生できるまち」や「農業や伝統産業が盛んな活力のあるまち」が他の旧市町に比べて多い。
- ・各居住地とも、「活力のあるまち」といった産業志向よりも、むしろ「安心して暮らせるまち」という生活重視の将来像を優先していることが伺える。



### 新しいまちづくりへの対応

問8 新しい久留米市が、旧1市4町の各地域の特性を活かしたまちづくりを進めていくためには、特にどのような事に気をつけなければならないと思いますか？あなたのお考えに近いものを**2つまで** **選び番号**にをつけてください。

- ・市全体では、「生活環境の地域格差の生じないよう、下水道や身近な生活道路等の生活環境施設の整備を進める」が56%で最も多く、ついで「バスや鉄道などの公共交通の充実・強化を図る」が37%で多い。
- ・旧市町別にみると、旧久留米市では「現在の生活環境を守るため、周辺に新たな建物が立つ際の建物の種類や高さなどについてのルールを設ける」34%が、旧城島町では「バスや鉄道などの公共交通の充実・強化を図る」53%が、旧田主丸町では「旧1市4町を結ぶ道路を整備する」(27%)が他の旧市町に比べて多い。
- ・総じて、地域格差の生じない生活環境施設の充実とともに、新市としての一体性が高く、連携交流の図られやすいまちづくりが求められていると考えられる。

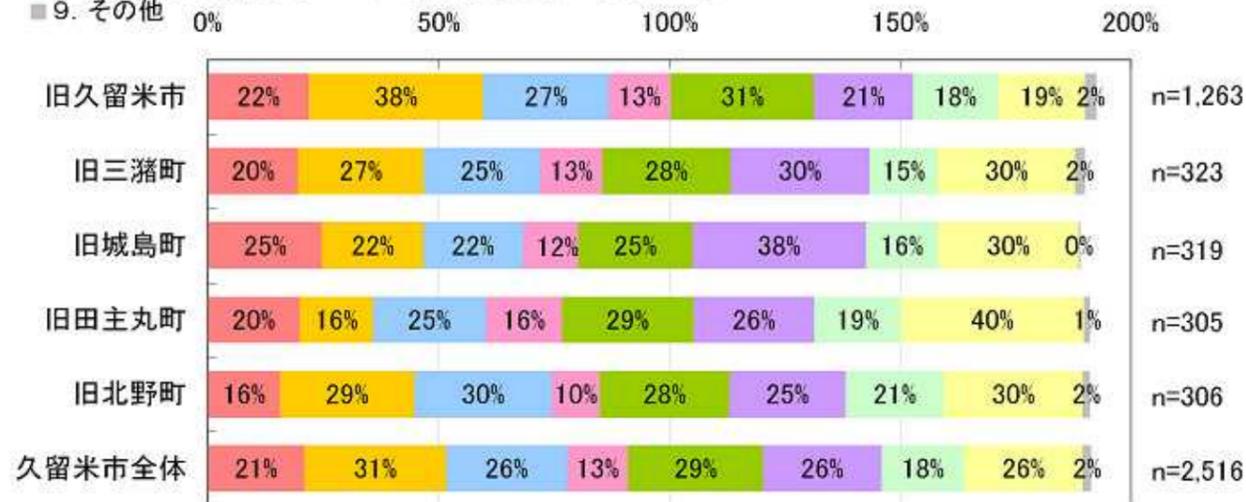


市外からも多くの人をひきつける魅力あるまち

問9 久留米市が市外からも多くの人をひきつける魅力あるまちとなるため、どのような整備や取り組みが重要だと思いますか？あなたのお考えに近いものを2つまで選び番号にをつけてください。

- ・市全体では、「JR久留米駅周辺から西鉄久留米駅周辺の整備等をすすめ、にぎやかな中心市街地をつくる」が31%で最も多いが、どの選択肢も突出した回答は得られなかった。
- ・旧市町別で見ると、旧久留米市では「JR久留米駅周辺から西鉄久留米駅周辺の整備等をすすめ、にぎやかな中心市街地をつくる」が、旧三潴町や旧城島町では「企業誘致を促進し、地域で働く場を提供する」が、旧田主丸町では「農産物、地場産業を生かした魅力ある地域づくりを進める」が、旧北野町では「住宅、店舗、病院、福祉施設などが集まり快適な暮らしができる便利でコンパクトなまちづくりを進める」が他の旧市町に比べて比較的が多い。
- ・総じて、各地域ではそれぞれの拠点性や特性を勘案して回答されたことが伺われ、今後の求心性の高いまちづくりに向けては、各地域間でも多種多様な価値観があると考えられる。

1. 新幹線開業効果などを活かした観光・交流の盛んなまちづくりを進める
2. JR久留米駅周辺から西鉄久留米駅周辺の整備等をすすめ、にぎやかな中心市街地をつくる
3. 住宅、店舗、病院、福祉施設などが集まり快適な暮らしができる便利でコンパクトなまちづくりを進める
4. 国道や県道など幹線道路の整備がすすんだ、便利で安心なまちづくりを進める
5. 久留米市の特性を活かした街並み・景観を保全・創出する取り組みを推進し、風格のあるまちづくりを進める
6. 企業誘致を促進し地域で働く場を提供する
7. 高度な医療を行う病院を活かし、安心な医療を提供する
8. 農作物、地場産業を生かした魅力ある地域づくりを進める
9. その他

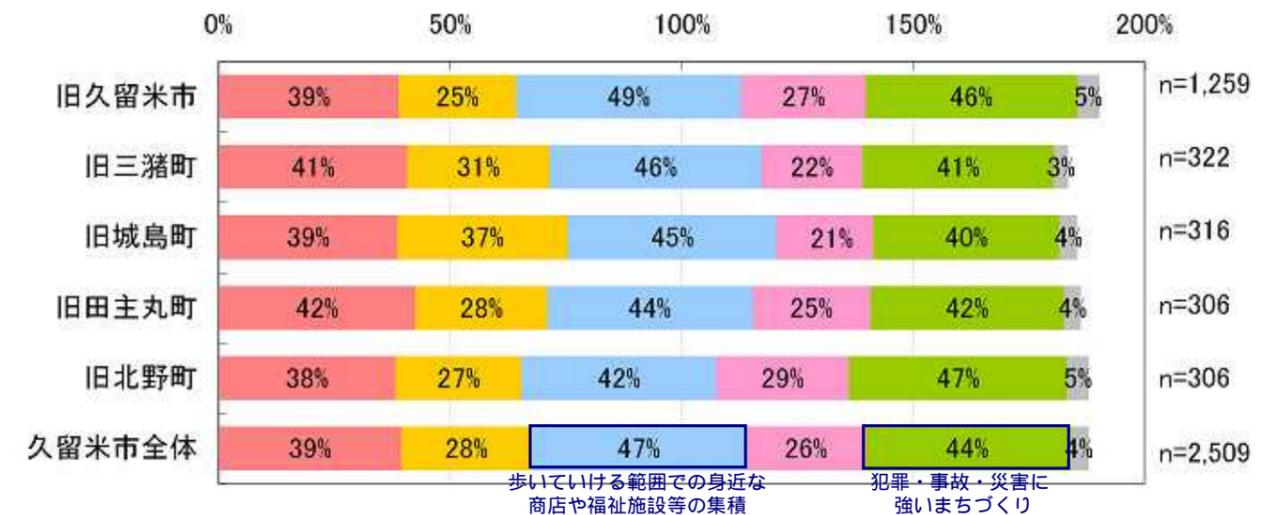


久留米市の人口減少・少子高齢化への対応

問10 人口減少・少子高齢化に対応するまちづくりにむけて、どのような整備や取り組みが重要だと思いますか？あなたのお考えに近いものを2つまで選び番号にをつけてください。

- ・市全体では、「歩いて行ける範囲に、身近な商店や福祉施設等を集める」が47%で最も多く、ついで「犯罪・交通事故・災害に強いまちづくりを進める」が多い。
- ・旧市町別にみると、概ね市全体と同様の傾向にあるが、旧城島町では「自動車に頼らない交通手段として、バスや鉄道などの公共交通の充実を図る」が他の旧市町に比べて高く、公共交通手段の確保が求められている。
- ・総じて、人口減少・少子高齢化に向けては、犯罪・事故・災害に強い安全安心なまちづくりとともに、徒歩圏内の日常生活サービスが受けられる生活拠点の形成が重要視されている。

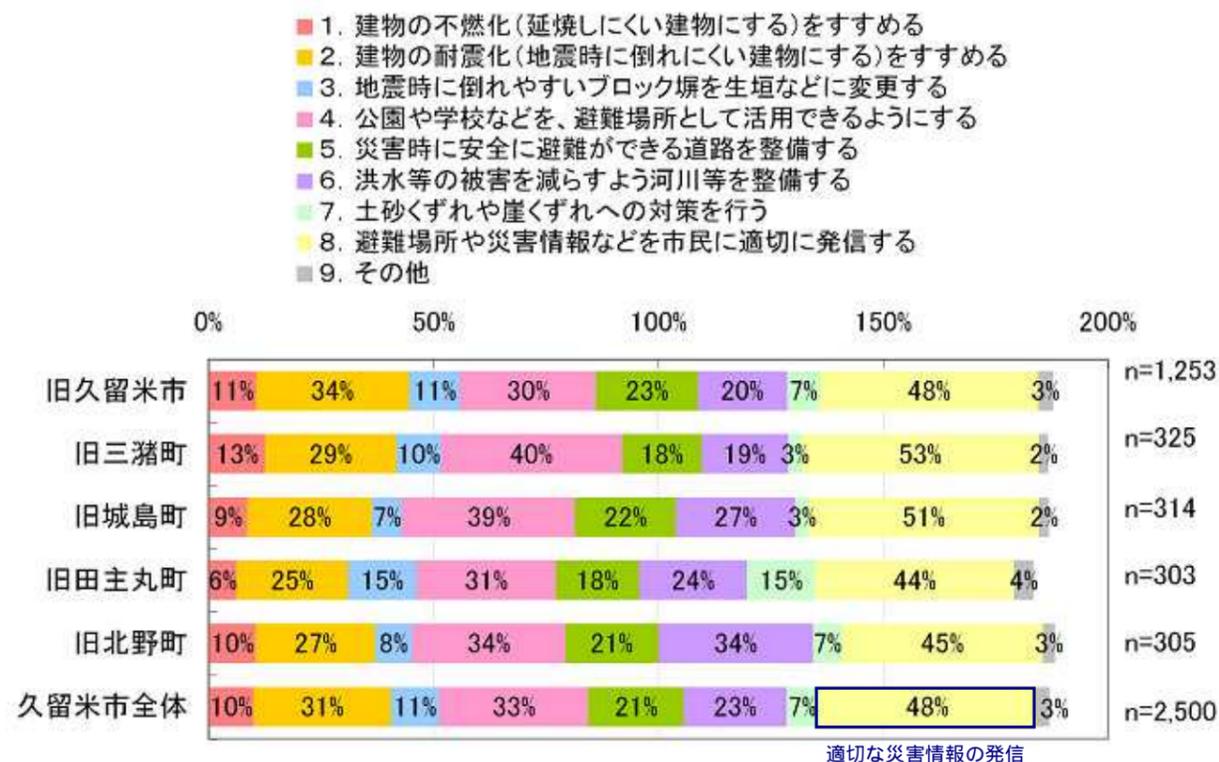
1. 身近な生活道路や周辺の公園の整備を進め、身近な生活環境や暮らしやすさを高める
2. 自動車に頼らない交通手段として、バスや鉄道などの公共交通の充実を図る
3. 歩いて行ける範囲に、身近な商店や福祉施設等を集める
4. 公共施設や歩道などのバリアフリー化を図る
5. 犯罪・交通事故・災害に強いまちづくりを進める
6. その他



## 安全・安心なまちづくり

問1 1 久留米市では、今後の安全・安心なまちづくりに向けて、どのような整備や取組みが重要だと思いますか？あなたのお考えに近いものを2つまで選び番号にをつけてください。

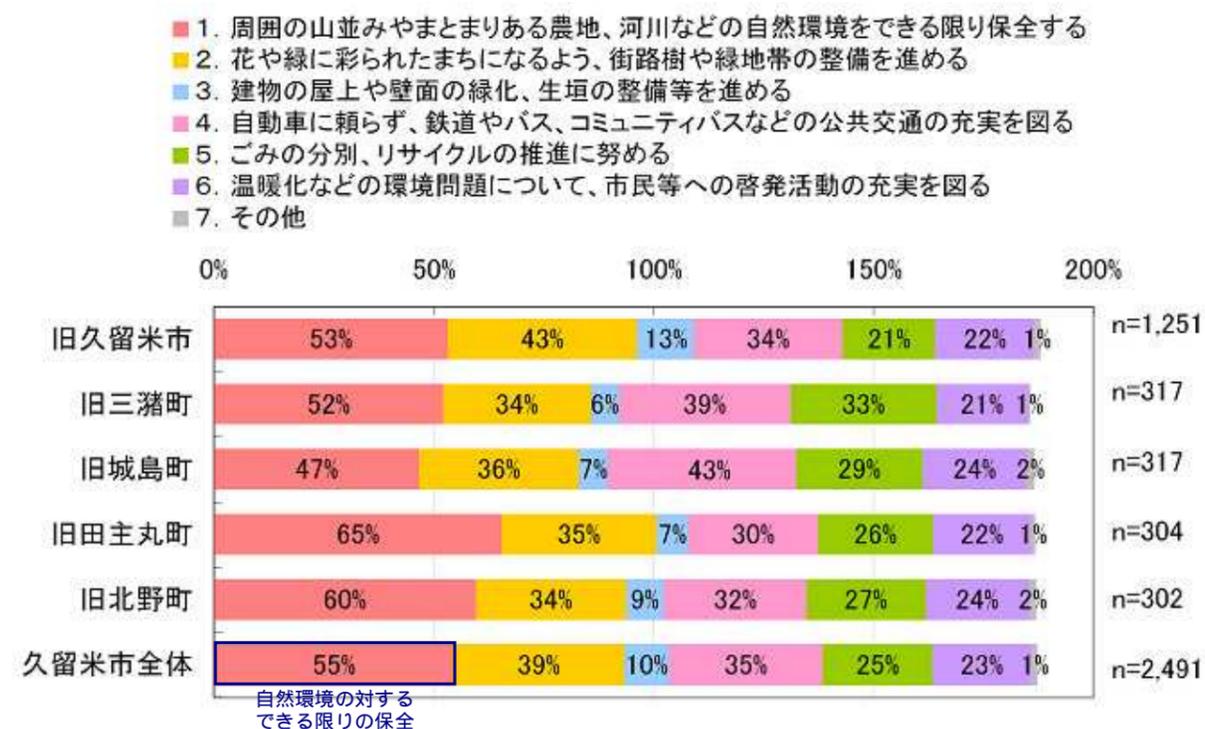
- ・市全体では、「避難場所や災害情報などを市民に適切に発信する」が48%で最も多く、ついで「公園や学校などを、避難場所として活用できるようにする」が多い。
- ・旧市町別にみると、概ね市全体と同様の傾向を示しているが、旧三潴町や旧城島町では「公園や学校などを、避難場所として活用できるようにする」が、旧北野町では「洪水等の被害を減らすよう河川等を整備する」が他の旧市町より多い。
- ・よって、久留米市民は「適切な災害情報の発信」が重要と5割が回答しており、防災のためのインフラ整備に加えて災害時の情報発信の重要性が伺える。



## 環境に配慮したまちづくり

問1 2 久留米市では、今後の環境に配慮したまちづくりに向けて、どのような整備や取組みが重要だと思いますか？あなたのお考えに近いものを2つまで選び番号にをつけてください。

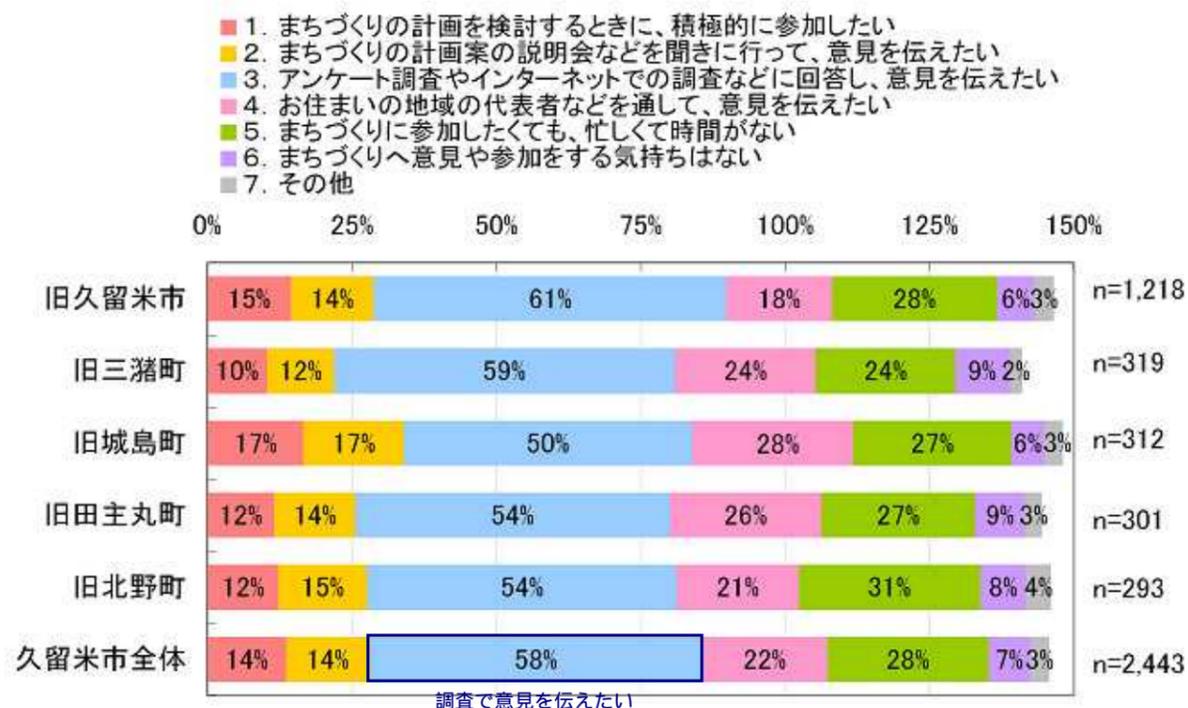
- ・市全体では、「周辺の山並みやまとまりある農地、河川などの自然環境をできる限り保全する」が55%で最も多く、ついで「花や緑に彩られたまちになるよう、街路樹や緑地帯の整備を進める」が39%で多い。
- ・旧市町別にみると、旧三潴町、旧城島町では「自動車に頼らず、鉄道やバス、コミュニティバスなどの公共交通の充実を図る」が4割前後を占め、市全体と比べ多い。また、旧三潴町で「ごみの分別、リサイクルの推進に努める」が33%で、市全体に比べ多い。
- ・よって、今後、低炭素社会の形成に向けて、良好な自然環境の保全とともに、自動車利用から公共交通利用への転換に向けた取組みが求められている。



## まちづくりへの参加

問13 久留米市のまちづくりについては、様々なかたちで市民の皆様のご意見を受けて検討を進めていきますが、どのような形で参加することが望ましいと思いますか？あなたのお考えに**あてはまるものすべてを選び番号に**をつけてください。

- ・今後のまちづくりへの市民参画の方法として、市全体では、「アンケート調査やインターネットでの調査などに回答し、意見を伝えたい」が58%で最も多く、ついで「まちづくりに参加したくても、忙しくて時間がない」が約3割を占めた。「まちづくりへ意見や参加をする気持ちはない」は7%に過ぎない。
- ・旧市町別でも、市全体と同様に、「アンケート調査やインターネットでの調査などに回答し、意見を伝えたい」が過半数を占め、ついで「まちづくりに参加したくても、忙しくて時間がない」と続いている。
- ・よって、まちづくりへの関心は高いものの、具体的な参加となると時間的な制約などから困難であることが伺われ、できる範囲での協力が「調査への協力」という形になったと考えられる。
- ・「積極的な参加」、「説明会への参加」をあわせると2割強の方も自ら参加する意向があり、今後、市民参加に対しては多様な選択肢が可能な方法が求められている。



## 自由意見(例)

他県より久留米市に引っ越して来ましたが、道路の狭さ、自転車や歩行者の通るスペースのない道に驚きました。自動車を運転される方のマナーも悪く、ビクビクしながら運転しています。歩行者も自転車も自動車も安心して移動できる環境になればと思います。これからもっと久留米が盛り上がることに期待しています。

旧久留米市在住 20代女性

道路や施設を整備することも大切なことだとは思いますが、現在あるものを生かして再復興、リニューアルしていけば、予算削減できると思います。だんだんさびれていく久留米を昔の活気あるまちに復活させてほしいです。商業に力と若い人たちに挑戦の場を与えて次世代とバトンタッチするのも1つの手段ですね。久留米は大好きな町ですし、大好きな故郷です。筑後川もきれいにしたいです。

旧久留米市在住 30代男性

わたしのような高齢者でもまちづくりに参加して行動にも加わることができたらどんなにいいだろう。連れ合いの高齢者や福祉施設などの為にするのはいけないと思うけれど、せめて自分が健康で自由に動ける身体だったらよかったのにと後悔しています。外出は長く歩くことが困難なため、高齢者であっても自動車に頼らざるを得ない生活をしています。

旧久留米市在住 70代女性

久留米市の善導寺方面等は道路や街灯、公共交通は充実していると思います。ただ北野町の中心部を離れると街灯も無く道路も舗装がポロポロのところがあります。こういう地域格差をなくしていくべきではないでしょうか？私の住んでいる所はバス路線がなく車を持っていない人、高齢者、学生の交通手段は限られてしまいます。このようなところから改善してほしいです。

旧北野町在住 20代女性

合併後、久留米市の範囲が広がった割には各地区がバラバラな気がします。街づくりのスローガン(緑化や環境対策など)を1つ大きく掲げて、広報誌で地域の取り組みについて載せてみたりしては？難しいとは思いますが、一番希望したいことは、文化施設やスポーツ施設の整備より子供やお年寄りが安心して歩ける歩道の整備です。これにまず取り組んでいただきたい。

旧三潁町在住 40代女性

私が住む地域には徒歩圏内にバス停がないので不便に感じています。私以外にも久留米市にお住まいの方からもバスを増やしてほしいという声を聞きます。特に高齢の方に多いです。久留米市内の公共交通は地域格差があると感じます。経営の問題もありますが高齢化が進んでいく中で公共交通の充実は必要ではないでしょうか。もっと久留米市のことを知り、久留米市がさらに魅力的なまちになるように考えていきます。

旧城島町在住 70代女性

田主丸町環境の良さを気に入り、昨年他県より転入してきました。現在は田主丸町に家を購入し、定住を決めています。耳納連山のふもとで素晴らしい街だと思います。市中心市街地は子どもを育てる上であまり良いイメージがありません。もっと安全で安心して暮らせる街を目指していただきたいです。

旧田主丸町在住 30代男性

まちづくりに関する意見・要望の一部を記載